

# 井草中 CS(コニミュニティ・スクール)便り

2022年3月17日発行 杉並区立井草中学校 学校運営協議会 第 22 号

## 【校長より】 校長 松浦 素明

新型コロナウイルス感染症に対する対応が始まり約2年が経ちました。この間、生徒の安心・安全を最優先し校内で感染が広がらないように様々な対策を施してきました。それでも学校行事の中止や延期、実施してもこれまでのやり方を大きく変更しなければならないことも多くありました。時期によっては保護者の皆様にも授業公開ができないということもありました。本来ならばコミュニティ・スクールである井草中では地域の皆様にも学校教育活動に参画していただくと共に日頃の学校を見ていただきたいところですが、社会情勢を鑑みて思うように勧められないことをお詫びいたします。

生徒は、様々な制約がありますが日々充実した学校生活を送っています。174名の3年生も無事に卒業を迎えることができました。今後、新型コロナウイルスへの対応が終息し、保護者・地域の皆様に自由に井草中に来ていただく日が来ることを願っております。

## 【学校運営協議会 会長より】 学校運営協議会(CS)会長 野瀬 博

久々に CS 便りが発行できましたので、学校運営協議会の活動が生徒・保護者・地域の方々を含め、関係各所に広く情報発信をさせていただきます。コロナ禍で、なかなか活動が思うようにいかないところもありますが、工夫をしながら井草中の子どもたちが充実した学校生活を過ごせるよう学校に提言も含めた支援をしていきます。私共の仕事の一つに校長先生の学校経営方針を承認する作業があり、教育調査アンケートの結果を参考としております。そのため、調査結果分析の専門家である嘉悦大学教授 木幡尊史 先生をお招きし、昨年度、今年度と2年に渡り分析をしていただいたいところです。教育調査の結果が反映された学校経営方針に基づき、私共は学校を支援して参ります。

#### <学校運営協議会の活動>

- 4/7 入学式参列
- 4/27 第 1 回 CS 会議
- 5/28 第 2 回 CS 会議
- 6/29 第 3 回 CS 会議
- ・7/29 第 4 回 CS 会議 (リモート)
- · 9/24 第 5 回 CS 会議
- ・10/13~20 授業観察

- 10/20 第 6 回 CS 会議
- · 10/23 合唱祭参観
- 12/3 第7回 CS 会議
- ・2/14 学校評価委員会 (大学教授を講師に招いた教育 調査結果の分析と協議)
- · 2/14 第 8 回 CS 会議
- 3/3 学習発表会参観

- ・3/8第9回CS会議
- 3/18 卒業式参列

コロナ禍にありながらも、何と か会議を定期的に行うことで、 学校運営に関する協議を続けて いくことができました。

【学校運営協議会(CS)委員】	
野瀬 博(会長)	眞田 明子
松浦 素明(校長)	細田恵
小美濃 智江美(職務代理者)	古谷 充廣
磯 彩子	松本 恭子
亀井 智子	矢向 高弘

#### 【副校長より】 副校長 白川 浩

着任して2年が経ちました。井草中の2年間はコロナとの闘いと共存につきます。着任早々、2か月の臨時休校となり先行き不安なスタートでした。6月からの学校生活では、長期休業期間を大幅に短縮したり、土曜授業を月に2回(内1回は1日授業)実施しました。2か月の休校期間により止まってしまった学びを取り戻すために先生方は必死に授業をしました。その授業に一所懸命取り組んでくれた生徒がいました。不安を抱えながらも保護者・地域の皆さんは温かく見守っていただきました。誰も経験したことがない事態に井草中学校で皆と協力して取り組んだことは特別な思い出となっています。今後も井草中学校の一員としてできることを模索しながら励んでまいります。

# 【学校支援本部 本部長より】 学校支援本部 "O" 本部長 矢向 高弘

学校支援本部は、学校の教職員だけでは手が行き届かないちょっとした活動を、現役の保護者を含め地域の方々が支援するための団体です。昨年度と今年度はコロナ禍で入校禁止が続いているため、主だった活動が実施できておりません。渡り鳥が次の長旅に備えて羽を休めるように、活動再開に向けた体制作りを検討しています。地域の若い方々が積極的に参加されることを期待しております。

学校支援本部の活動

#### "ホッと"すペーす

代表 山西 奈留美

今年度、"ホッと"すペーすは2回の活動となりました。

月に一回、お手紙で事前に利用する生徒の申請を受け付け、参加人数を制限しながら、感染対策に配慮して開催しました。

安心して生徒に利用してもらえる活動となるよう、今後も先生方と相談し進めていきたいと思います。

#### 学級サポーター 代表 小向 祐子

コロナ禍で活動停止となり3年目に入ります。これまで、学級サポーターは学校公開・運動会の生徒への見守り・合唱コンクールなど学校行事を中心に参加していました。この取り組みは全国的にもユニークです。今後もコミュニティ・スクール(CS)委員と学校支援本部 "〇"の委員が、生徒たちの応援団としてサポート出来ればと思います。

#### 図書サポーター 代表 山本 清子

今年度の図書サポーターは先生とも相談をしながら2回(12月・1月)活動しました。

月に1回、時間短縮、人数制限を決めての活動です。状況を考えて出来るだけ生徒とは接触しない様に 気を付けて活動しましたが、図書サポーターとしては充分な活動とは言えません。今後も先生と相談し ながら進めていきたいと思います。

# <mark>学校・地域コーディネーター</mark> 代表 大森 恵美子

本年度、コーディネーターとしてお手伝いしたのは7月に行われた2年生の「キャリア講座」です。 ロータリークラブから3名の方に講師としてお越しいただき体育館での講演会形式で「働くということ」をテーマにお話ししていただきました。

コロナ禍の影響を多大に受け、コロナ前には毎年行われていた保育体験や福祉体験、お琴の授業は見合わせとなりました。

新年度、どのような動きになるのか今はまだ見通しのつかない状況ですが、学校とのコミュニケーションを密に取りつつ柔軟に対応できたらと思っています。

### <mark>ホームページサポーター</mark> 矢向 高弘

学校ホームページの更新に際し、誤ってデータを紛失した場合に備えて定期的にバックアップ作業を行っています。今年度は一度もトラブルが無くて良かったです。

#### 同窓会 会長 石田 悦美

ここ2年のコロナ禍において、同窓会活動も通常行われていた代表幹事会等の開催も中止、延期になる など大きな変化を余儀なくされています。

また同窓会総会の開催方法も感染対策を軸に検討せざるを得ない状況となっています。

それ以上に資金面の問題もあり、案内郵送費などの高騰、同窓会費の入金減少の影響は大きく、台所事情の苦しい運営となっています。

同窓会活動への理解を深めていただける努力が大切と痛感しています。

# ISS 代表 大平 久光

なかなか終息が見えないコロナ禍にありますが、それでも伊藤先生や石黒さん、学ボラのお陰様で「6月にアウトドアクッキング、11月に綿菓子やかき氷、ポップコーン作り。その他、学校内のボランティアを行っている」と聞いています。地域イベントは中止されて応援活動はありません。修了式(お別れ会)を3/10に行う予定にあります。